



CQM(超短期経済予測モデル)

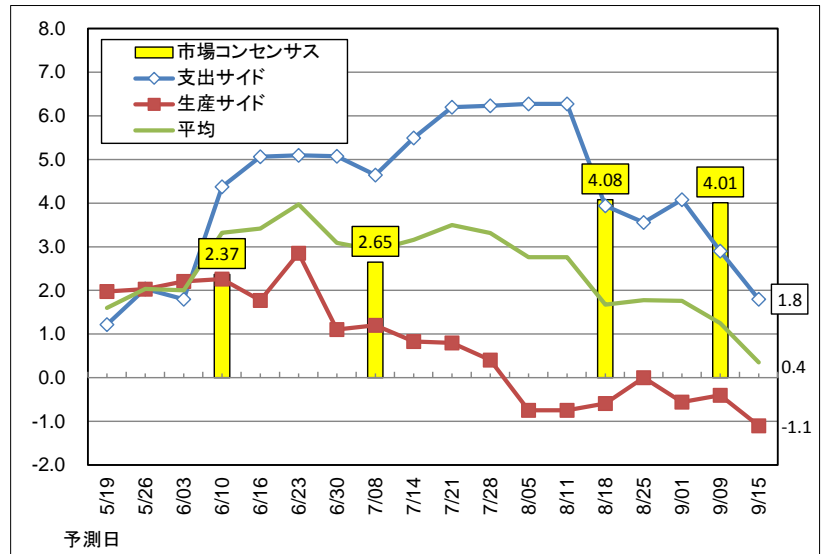
稲田義久 (APIR 数量経済分析センター長)  
内容に関するお問い合わせは下記まで  
e-mail: inada-y@apir.or.jp

# 日本経済(週次)予測(2014年9月15日)

## ポイント

- ▶ 今週の予測で更新されたデータは、民間最終消費支出、民間企業設備、民間企業在庫品増加及び純輸出の予測値に影響を与える。
- ▶ 7-9月期の実質 GDP 成長率予測は先週 2% 台に減速した。今週は更に下方修正され、市場コンセンサスを大きく下回っている。
- ▶ 注目していた 7 月の消費総合指数は 3 カ月ぶりの前月比マイナス。結果、7-9 月期の実質民間最終消費支出の予測値は先週から下方修正された。天候不順や災害の影響で、7-9 月期の民間消費は低調となろう。
- ▶ 今週の超短期モデル(支出サイド)は、7-9 月期の実質 GDP 成長率を前期比+0.4%、同年率+1.8%と予測。先週から引き続き下方修正された。7-9 月期は、内需が拡大に転じるが、純輸出は横ばいとなる。

CQM 予測の動態：実質 GDP 成長率  
2014年7-9月期(%, 前期比年率換算)



### <低調な民間最終消費支出により、7-9月期の景気回復はもたつく>

今週の予測で更新されたデータは、8月の国内企業物価指数、輸出入物価指数、7月の鉱工業指数(確報値)、第3次産業活動指数、消費総合指数及び機械受注統計である。これらは、民間最終消費支出、民間企業設備、民間企業在庫品増加及び純輸出の予測値に影響を与える。

7-9月期の実質 GDP 成長率予測は先週 2% 台に減速した。今週は更に下方修正され、市場コンセンサスを大きく下回っている。注目していた 7 月の消費総合指数は 3 カ月ぶりの前月比マイナス。結果、7-9 月期の実質民間最終消費支出の予測値は先週から下方修正。天候不順や災害の影響で、7-9 月期の民間消費は低調となろう。

7 月の資本財出荷指数(確報値)は速報値を小幅上回ったが、7-9 月期の実質民間企業設備の予測値は先週から変化なし。7 月の最終需要財在庫指数(確報値)は速報値を小幅上回ったため、7-9 月期の実質民間在庫品増加の予測値は先週から幾分上方修正。8 月の輸出入物価指数が更新された結果、7-9 月期の実質純輸出の予測値は先週から上方修正された。

今週の超短期モデル(支出サイド)は、7-9 月期の実質 GDP 成長率を前期比+0.4%、同年率+1.8%と予測。先週(+2.9%)から下方修正。民間企業在庫品増加及び純輸出の予測値は上方修正されたが、民間最終消費支出の予測値は下方修正されたため。7-9 月期は、内需が拡大に転じるが(前期比+0.4%)、純輸出は横ばいとなる(前期比+0.0%)。

・本レポートは執筆者が情報提供を目的として作成したものであり、当研究所の見解を示すものではありません。  
・当研究所は、本レポートの正確性、完全性を保証するものではありません。また、本レポートの無断転載を禁じます。  
・お問い合わせ先：一般財団法人アジア太平洋研究所 [contact@apir.or.jp](mailto:contact@apir.or.jp) 06-6485-7690